

熊本駅のアンテナショップ 経営状態はどうなっているか



片山裕治 議員

片山 熊本駅構内の商業施設は、当初募集時に企業・自治体の道の駅などが出店を控える中、氷川のしずくは藤本町長の販売戦略の一環としてオープンを致しました。

片山 出店費用・店舗改装・敷金・利用料等の経費はどのくらいか。

農業振興課長 店舗改装費722万円・敷金、家賃の12ヶ月分として420万円・家賃は月額36万円。尚売り上げが360万円を超えた場合には家賃が売り上げの10パーセントとなります。

片山 パーセント以下が適正ではないかと考えております。

片山 年間売上目標額と3月からの売り上げ実績と現在の経営内容の分析を説明を。

物産館が得意とする果樹販売に力

農業振興課長 売上げ目標は、年間3000万円、実績は、3月は228万円、4月は235万円、5月は269万円、6月は209万円、7月は217万円、8月は322万円となっております。現況は売り上げ目標額を下回っている状況です。やはり物産館が得意とする、梨、苺、晩白柚、みかん、果樹の販売



熊本駅構内の「氷川のしずく」

片山 商業施設の場合の経費の中で人件費の占める割合は何パーセントと考えられますか。

農業振興課長 現在氷川のしずくを試算した場合に、人件費の占める割合は30パーセントを超えている状況です。損益分岐点を計算したときに16

強化が売り上げ増に繋がると思っています。特に8月期におきましては、梨が非常に多く販売され322万円の実績が出ており、今後は近隣の春日地区、得意先回りの営業をしながら損益分岐点の500万円を目標に販売戦略に力を入れていくところで。

氷川のしずくでは町内の農産物販売を

片山 氷川のしずくで販売されている品物は外注、また町外が多いように見受けられたが、より多くの氷川町内の品物、農産物の販売を増やすべきではないのか。

農業振興課長 商品等は、自社製品と町内業者の製品が合わせて43品目、原材料一次加工等についての製造委託が35品目、町外の商品を単独で仕入れるといった商品はありませぬ。現在オープンして6ヶ月になりますので、商品の入れ替えを検討しており、町内業者をすこしでも増やすよう指導いたします。

出店経費が膨らんだ時の判断は

片山 氷川のしずくの経営分析と出店経費が膨らみ続けた場合、町長はどう判断されますか。

鋭意努力している最終判断は私がします

町長 開業して6ヶ月になります。当初見込んでおりました売り上げまではまだまだ到達しておりませぬ。大変苦戦をしております。

いるというのが現状でございます。今一生涯懸命社員とともに頑張っておりますので、その辺りは是非ご理解をいただきたいと思っております。最終的な責任は当然社会の代表であります社長の責任となっております。大変皆様方にもご心配をおかけいたしておりますけれども、今頑張っておりますので、どうぞ皆様方もご支援とご協力をお願いいたします。



大野窟古墳や野津古墳群を 氷川町の活性化に



坂本悦男 議員

坂本 野津古墳群につきましては平成17年国史跡指定を受け国指定面積4万7927平方メートルという広大な古墳群であります。又、大野窟古墳は6世紀後半に巨大な石で造られた非常に重要な

生涯学習課長 大野窟古墳は、6世紀後半頃造られた、これまで円墳とされ0メートルの前方後円墳と判明いたしました。石室の高さが6・5メートルあり全国有数のもので、造り方は関西の影響を受け、石組も珍しく貴重な古墳です。調査報告書を作成中で、12月に刊行できるように作業を進めています。

坂本 野津古墳群、大野窟古墳も主要道路から近い所にあります。道路拡幅と宮原大野窟免道路から大野窟を経由してインターチェンジに接続する整備計画を策定してもらいたい。

町長 大野窟古墳も国の指定に向け準備を進めていますが、野津古墳群を含めて周辺整備というものは、当然必要になって

BSスマートインター 建設事業の促進を

坂本 現在、インター建設現場に大量の砕石が運び込まれていますが、現在の進捗状況はどうなっているのか。

総務振興課長 アクセス道路の線形がほぼ決定し、地籍調査と連携して用地

きますし、それに通ずる道路も必要不可欠であります。町全体の道路基本計画を作成しておりますので、その中に盛り込んでいきたいと考えています。

坂本 両古墳とも、火の国を治めていた火の君一族の墳墓ということで、大野窟古墳が国指定史跡となれば内外から注目されるのは必至であります。野津古墳群には古墳公園、大野窟古墳は崩落防止策を講じて、石室の中に入る様に整備し、氷川町の活性化に向けた活用を図ってもらいたい。

町長 周辺の整備はどの程度どう活用するか、保存と見せる部分の必要性、財政面も考えて計画したい。

**アクセス道路の
交差点に信号機を**

坂本 国道3号線からのアクセス道路と高塚地区の主要道路である小川八代線との交差点はどうなるのか。地域住民が一番関心を持っておられるところでもあります。通学道路でもあり、朝夕の通勤通学者の安全を守るための信号機の設置はできるのか。

総務振興課長 県警からは信号設置は難しいとのことですが、地元からより安全にこの要望もあり、横断ボックスを設置する案で県と協議しています。

坂本 大野交差点それから県道小川八代線の赤迫地区の道路が未整備で、交通事故が心配されます。町道60メートル、県道約80メートルの道路幅が狭く、軽自動車同士の離合も出来ない所もあり、朝夕の通勤通学の時間帯には運転者も大変気遣いされております。周辺には道の駅物産館、竜北公園もあり、大野交差点の右折レーンの設置、町道県道の整備を早急に行う必要があるのではないか。

改良を要望している



道路拡張が必要な県道

町長 あの交差点は今のままではよろしくないの、県と協議を深め、なるべく早い時期に改良ができるような方向に持っていきたいと思っております。また、国道3号線四車線化で、交差点の先行改良の考えが国にありますので、大野交差点改良の検討を要望しています。あわせて、アクセス道路から迫地区の農免道路を結ぶ線、大野窟古墳あるいは野津古墳を繋ぐ道路になるわけで、そういった整備も必要であろうと思っております。今作っております道路基本計画にうたい込めればと思っております。



国指定に向けて準備中の大野窟古墳

坂本 野津古墳群、大野窟古墳

用地に仮置きしています。